

長崎県美術館指定管理者候補者の選定結果について

1. 施設概要

- ・ 名 称：長崎県美術館
- ・ 所在地：長崎市出島町2番1号

2. 指定管理者候補者

- ・ 名 称：公益財団法人長崎ミュージアム振興財団
- ・ 代表者：理事長 中牟田 新一
- ・ 所在地：長崎市出島町2番1号

3. 選定経過

(1) 募集期間

令和2年3月27日～6月19日（85日間）

(2) 応募団体（1者）

公益財団法人長崎ミュージアム振興財団

(3) 選定方法

- ①第1回指定管理者選定委員会（令和2年2月18日）
 - ・ 募集要領・審査基準の審議、決定
- ②第2回指定管理者選定委員会（令和2年8月6日）
 - ・ 応募者によるプレゼンテーション、質疑応答の実施
 - ・ 採点、審査、候補者選定

(4) 選定委員（50音順）

区 分	氏 名	職 名
委員長	鶴田 貴明	公益財団法人ながさき地域政策研究所 理事
委 員	赤羽 耕介	赤羽公認会計士事務所 公認会計士
〃	江副 功	長崎県美術協会 副会長
〃	逢坂 恵理子	国立新美術館 館長
〃	古賀 大	株式会社日本設計 執行役員フェロー
〃	花田 伸一	佐賀大学芸術地域デザイン学部 准教授
〃	渡邊 太志	一般社団法人九州観光推進機構 事業本部長

(5) 選定結果（370点×6名＝2,220点満点）

- ①公益財団法人長崎ミュージアム振興財団 1,805点
※審査基準及び採点結果については、別紙1「審査基準及び採点結果」のとおり
※委員7名中6名の出席あり

(6) 選定理由

- 長崎県の人口規模を考慮しても、他の公立館に比べ入館者数が多く、また来館者満足度も高い。コロナ禍の影響を想定しつつも、これまでどおり年間38万人程度の入館者数を見込むなど意欲的な運営を目指している。
- 常設展・企画展は長崎ゆかりの美術やスペイン美術を中心に、様々なターゲットに向けた企画をバランスよく実施してきた。
- 教育普及事業については移動美術館や遠隔授業等を積極的に実施し、幅広く県民に美術に触れる機会を提供してきた。これらに加え、アートセラピーや平和学習等の新たな取組に着手するなど、より一層「文化・芸術による地域づくり」への貢献が期待できる。
- 九州新幹線西九州ルートの部分開業や MICE 施設の建設等、長崎駅周辺の開発が進む中、美術館の立地を生かしつつ、近隣施設と連携して県外や海外からの来館者の獲得を目標とするという中期的な視点に立った取組が提案されており、長崎県の魅力向上に寄与することが期待できる。

(7) 議事要旨

別紙2「選定委員会議事要旨」のとおり

(8) 事業計画書

公益財団法人長崎ミュージアム振興財団事業計画書

(長崎県文化観光国際部文化振興課において閲覧できます。)

4. 今後のスケジュール

(1) 令和2年9月定例県議会に議案提出

(2) 議決後、指定管理者として知事が指定

(3) 指定管理期間

令和3年4月1日～令和9年3月31日(6年間)

5. 問い合わせ先

〒850-8570 長崎市尾上町3番1号

長崎県文化観光国際部文化振興課 文化施設振興班

TEL:095-895-2768 FAX:095-829-2336

Email: s38010@pref.nagasaki.lg.jp